

少年法案外二件特別委員會會議事速記録第四號

大正十一年三月十八日(土曜日)午後四時四十八分開會

○副委員長(田所美治君) ソレデハ只今カラ會議ヲ續行イ
タシマス、花山院委員長今日モ差支デゴザイマス、私ニ代
理セイト云フコトデゴザイマス、不肖ナル私代理ヲ致シマ
ス、今日ハ司法省、内務省、文部省、又文部省ノ當局
モ皆待テ戴イテ居ル管デゴザイマス、御質問ガゴザイ
マス、御質問ケラ願ヒタイ……此間内務省ノ當局ヨリ感化
院ノ實況ニ付テ、御話ヲ承ルト云フ事デアッテ、ソレガ宿題
デ今日マデ留保イタシテ居リマスガ、御質問ノ前ニ御便宜
デゴザイマス、豫メ其コトヲ伺フモ宜シウコザイマス

○政府委員(田子一民君) 地方感化院ノ概況ヲ申上ゲマ
ス、御承知ノ如ク四十二年ニ感化法ヲ改正サレマシテ
今日ニ及ビマシタガ、只今府縣立ノモノ、私立ノモノ、合計
五十五コザイマス、定員ノ關係ニ依リマシテ、時々多少ノ出
入リモアリマスガ、大體二千人前後ヲ收容イタシマシテ、其
中約千五百人位ハ在院者デアリマス、後ノ者ハ委託デアリ
マス、最近マデハ政府ノ補助金ガ勅令ニ依リマスト約五万
圓ヲ抑ヘテ居リマシタガ、爲ニ發展ハ遲トシテ居リマシタ
ガ、是ハ補充費等ニ致シマシテ相當補助ノ途ガ擴張セラレ
マシタ、又一面ニハ職員ノ待遇ハ上ツタデアリマスガ、是
モ最近ニ設ケラレマシテ相當ノ待遇ヲナスヤウニナツテ居
リマス、又感化成績ニ付マシテハ容易ニ是ガ成績ヲ統計ノ
上ニ見ルト云フコトハ困難デアリマスガ、大體八十「パーセ
ント」位ノ感化成績ヲ見テ居ルト考ヘマス、是等ハ各國ノ感
化院ニ比ベマシテハ相當ノ成績ヲ擧ゲテ居ルト考ヘマ
ス、以上ハ大體地方感化院ノコトデゴザイマスガ、尙ホ國立
感化院、武藏野感化院ハ開院以來今日數年ヲ經過イタシマ
シタガ、只今定員百名ノ所百二名在院イタシテ居リマス、
此定員超過ヲ致シテ居リマス、理由ハ家庭ヨリ委託シテ居
リマス關係上在院者ノ收容力ハ百名分シカ設備ハアリマ
スガ、委託ノ關係デ多クナツテ居ル譯デアリマス、此方ノ
成績モ開院以來、前師範學校長ヲ致シテ居ラレマス、又
「メンタルテスト」ノ精神試驗ヲ致シマス、精神病學ノ醫學
士ガ居リマシテ、是等ノ盡力ニ依テ開院以來先ツ國立ノ感
化ト致シマシテハ、都合ヨク運ンデ居ルカノ如キ狀態デア
リマス、但シ以上ノヤウナ狀況デアリマスルガ、地方ニ致シ
マシテモ亦大キナ都市ニ致シマシテモ、不良少年ハ少クナ
イ數ヲ示シテ居リマス、極ク最近又市ニ依リマシテハ不捕
ノ處モゴザイマスガ、東京、京都、大阪、横濱、神戸、名古屋、

福岡等ノ人ヲ出シマシテ不良少年ノ狀況ヲ調べ、不良少年
ト申シマテモ、是ハ年齡ヲ廣メマシテ、假ニ三十歳マデ調ベ
タノデアリマスガ、最近ニ於キマシテモ是等ノ六大都市
竝ニ福岡ニ於キマシテ約四千六百人、是等ノ者ハ殆ド警察
ガ視察ヲ嚴ニシテ居ラナケレバナラスヤウナ極ク不良ナ
程度ノ強イ者ノヤウデアリマス、是等ハ只今ノ感化院ノ設
備ガ不十分ナ爲ニ收容ガ出來ズニ居ルヤウナ狀況デアリマ
ス、尙ホ又司法當局ニ於テ御調ベニナリマシタ、東京ニ於テ
ノ檢察局デ扱ヒマシタ起訴不起訴ノ數ニ徴シテモ少ナカラ
ズ感化院、矯正院等ニ收容シナケレバナラス數字ガアルヤ
ウニ考ヘルノデアリマス、是ハ地方感化院ヲ申上ゲマス
ニ狀況ヲ御參考ニ申上ゲテ置キマス

○政府委員(山岡萬之助君) 今日御廻ハシシテ置キマシタ
表ノ事ヲ一言申上ゲテ置キタイと思ヒマスガ、此監獄ノ成
績デゴザイマスガ、是ハ湯淺委員カラ此御質問ノアツタコ
トニ關係イタシテ居リマス、少年ノ特設監獄ハ此處ニ竝ベテ
アリマス、ケデゴザイマシテ、一年ノ出監人員ト云フモノ
ガ總計ニアル數デゴザイマシテ其中ニ戻テ來マス、再入、
再ビ入リマス者ガ、五年間ニ十八歳未滿、二十歳未滿ヲ合
計イタシマス、三十七人一分ニナル譯ニナリマス、ソレデ
今前申上ゲタヤウナ監獄ノ成績ハ先ヅ六七分デアルト云フ
コトヲ申上ゲテ置キマシタガ、即チ三十七人一分ト云フモ
ノハ再ビ五年間ニ戻テ來タノデアリマス、サウシテ尙ホ御
注意ヲ願ヒタイコトハ此表ニゴザイマス、通リ、出監後二年
未滿ト云フ所マデハ可成リ澤山入ッテ來マス、併ナガラ三年
後ニナリマス、斯様ナ極ク寥々タル數字ガ出テ居ルノデア
リマス、デスノ如クデアリマスカラ五年以後ニナリマシテ
ハ、先ヅ再入スル者ハ大體ナイト見テ居ル位ノ數字ガ出テ
居リマス、即チ三十七人一分ト云フモノガ成績ガ擧ラナカ
タモノデアリマス、其殘リタモノガ成績ガ擧ラナカ
ス、是ハ只今田子政府委員ノ御話ニ依リマスト云フコト、感化
院ニ於テ約八十「パーセント」ノ成績ガ擧テ居ルト云フコ
トデアリマス、是ト對照シマストドウシテモ此小サイ中ニ
改善ノ方法ヲ執ルト云フコトハ、最モ適當デアルト云フ事
ガ明カニナリマス、譯デゴザイマス、今日ハ此中間設備ガア
リマセヌカラ、感化院ハ收容スルニ適シナイ者ハ其儘ニ
ナツテ、遂ニ不良ノ度ガ高マルテ監獄ニ入ル事ニナルノデア
リマスガ、此點ハ甚ダ遺憾トスル所デアリマス、ソレデ矯正
ニ入ル數ニ依リマシテ、此ノ御廻シテ居リマス表デアリマ

スガ、是ハ東京ノ調査デゴザイマシテ、東京ノ檢察局デ處理
イタシマス、數ハ千八百七十一人デアリマシテ、其中矯正ス
ル數ハ百八十一人、其殘リハ總テ輕イ所ノ者デ始末ガツク
譯デアリマス、百八十八人ハ刑ノ有罪ニシナケレバナラス數
字ニナルノデアリマス、サウシテ更ニ此有罪人員ヲ區別シ
テ申上ゲルト、二十五人ニ實刑ヲ科シテ少年監獄ニ入レル
ノデアリマス、其他ニ六十人ト云フモノハ執行猶豫シテ先
ヅ監獄ト云フコトヲ避ケテ居リマス、譯デアリマス、所ガ六
十人ノ中ノ三十八人ト云フモノハ遂ニ執行猶豫ノ效果ガナ
クシテ取消ノ已ムヲ得ナイ數字ニナリマス、先ヅ四十人ト
云フモノハ六十人ノ中カラ何ントカ特別ナ措置ヲシナケレ
バナラス譯ニナルノデアリマス、ソコデ刑ヲ言渡シタ者デ
特別措置ヲシナケレバナラスト云フコトニナリマス、カラ、
是ガ先ヅ矯正院ニ持ッテ行ク外ハナイ數字ニナル譯デアリ
マス、ソレカラ此有罪、實刑ノ方ノ監獄ニ居リマシタ二十五
人ノ中デゴザイマス、其中ニ矯正院ガアリマス、場合ニ於
テ、矯正院ニ收容スルニ適スル數字ハドノ位アルカト調査
イタシマシタガ、ソレガ表ノ後ハツケテアリマス、東京ノ三
井判事ガ個々ノ者ニ付テ調査イタシタ材料ガ附加ヘテアリ
マス、其調査ニ依リマスト起訴シタ中ノ實刑ヲ科シタ中デ、
六割ト云フモノハ此矯正院デ始末ガ付ク斯ウ云フ意見デゴ
ザイマス、一々調査イタシマシタ結果、サウスルト實刑ノ中
二十五人ノ六割、即チ十何人ト云フモノハ矯正院デ始末ガ
付クノデ、是モ實效ガ擧テ譯デ、之ヲ三十八人ニ加ヘマス
ト先ヅ五十名餘ト云フモノハ東京區裁判所ノ刑ヲ科シマシ
タ中デ、矯正院ニ入レル外ハナイ者ニナルノデアリマス、之
ニ先ヅ東京ノ矯正院ハ横濱ノ管内ヲ收容スルコトニナリマ
ス、又八王子ノ方モ收容スルコトニナリマス、先ヅ今年ノヤ
ウデアリマスト百人ト云フ所ノソコノノ數ガソコニ出テ
來ル譯デアリマス、此數ガ乃チ此矯正院ニ這入リマス、左様
ナ意味ノ爲ニ是ハ材料ヲ差上ゲマシタ譯デアリマス

○湯淺倉平君 矯正院ハ當分ハ東京大阪ダケニ御置キニナ
ル御積リデアリマスルカ

○政府委員(山岡萬之助君) 左様デゴザイマス

○湯淺倉平君 其外地方ノ分ハドウ云コトニナリマス、カ
○政府委員(山岡萬之助君) 其他ノモノハ感化法ノ施行規
定ニ於キマシテ、尙ホ從前ノ例ニ依ルコトデゴザイマシテ、
暫ク從前ノ例ニ依ルコトデゴザイマスルガ、サウ致シマス
ルト其他ノ部分ノモノガ保護ノ途ガ缺ケルト云フコトニナ

リマスルガ、是ハ矢張先ニ申シマシタヤウニ程度ノ問題ニナリマスルノデ、今日最モ困リテ居リマスルノハ東京大阪デゴザイマス、其外此名古屋ト云フ所、或ハ福岡ト云フ所ニナリマスルト、餘程此程度ガ違フテ参リマスルノデ、先ヅ東京大阪ト云フコトヲ左様ナ意味ニ於テ致シタルノデアリマス

○政府委員(山内確三郎君) 此東京大阪ノ二箇所ニ先ヅ少年審判所及矯正院ヲ設クルト云フコトニ致シマシタルハ、固ヨリ理想デハナイ、併ナガラ此少年審判所ヲ設ケルニ付マシテ、或ハ保護司或ハ少年審判官ノ適當ノ人ヲ得ルコト云フコトハ餘程困難ナ事デアラウト思フノデアリマス、而シテ保護司等ノ養成法ニ付テモ餘程是ハ力ヲ盡サナイト云フト、徒ラニ理論ニ偏シテ全國直ニ一舉シテ施行スルコト云フ、從前ノヤウナ考デアリマスルコト云フト却テ失敗ニ終ララウト私考ヘテ居ル、此點ニ付マシテ昨年貴族院ニ於テハ色々議論モアリマシテ、私ハ其跡ヲ見テ見マスルト矢張先ヅ最モ不良少年ガ多キ、即チ東京ニ、是ハ横濱ヲ合セテ、或ハ大阪ニ、是ハ神戸ヲ合セテ管轄シタル所ニ於テ、サウシテ其實績ヲ擧ゲテ……ソレカラ同時ニ此國費ノ必要ノ關係モアルノデアリマスルカラ、其關係ノ關係カラ順次他ノ都會ノ即チ不良少年ノ多カルベキ他ノ裁判所ニ及ボサウト云フ計畫ニ今年ハ改メタルデアリマス、固ヨリ其間ハソレガ段々擴張セラルル間ニ感化院法ニ於キマシテ、年齢ノ制限ハ從前ノ通りニナルノデアリマス、併ナガラ當時裁判所ニ於キマシテ此處分ヲスルニ付テ、餘程此少年法ノ趣旨ヲ能ク研究シツツ今日東京ニ於テヤウテ居ルヤウナ意味ニ於キマシテ、適當ノ考慮ヲ拂フテ而シテ費用準備等ハ之ヲ得ルニ從ヒマシテ、順次擴張ヲシテ行クト云フ決心ニナツテ居リマス

○湯淺倉平君 私カラ差出テ申スノハオカシナ様ニ思ヒマスガ、何ダカ大阪ノ方ニハ京都ヲ含マセラレテモ宜ササウニ思ハレマス、ト云フノハ人口ノ關係ハドウナリマスカ、東京ニ神奈川縣ヲ合セタモノト、大阪ニ兵庫縣ヲ合セタモノト、丁度似タヤウナモノニナルノデゴザイマス、同ジ不良少年デモ不良性ノ重イ者ハ矢張り大キナ都會ニ多イヤウニ思フノデゴザイマス、サウシマス東京ハ是ダケノ大キナ人口ガアルガ、大阪ハ其三分ノ一位ナモノダト思ヒマス、サウスルト若シ兩方同ジヤウナ設備デアッテ、定員デモ同ジ位ダト云フト、京都位ハ四ニ方ニ加ハツテ丁度釣合ガ取レル位デヤナイカト云フ感ジガアル、是モ一ノ疑デアリマスカラ……

○政府委員(山内確三郎君) 此大體ノコトヲ私ハ申シタルノデ、必ズシモ大阪神戸今日確定シテ居ル積リデハナイ、御意見ハ至極御尤モト思ヒマス、適當ニ考慮シテ實施ヲシタ

イト考ヘテ居リマス

○湯淺倉平君 先刻內務省ノ政府委員ノ御説明ノ五十五ト云フ感化院ハ、代用感化院ヲ含ンデ居ル數デアリマス、カ

○政府委員(田子一民君) サウデゴザイマス

○湯淺倉平君 私立ノ感化院ヲ含ンデ居リマス、カ

○政府委員(田子一民君) サウデゴザイマス

○湯淺倉平君 府縣立及代用ノ感化院ハサウデアアルマイト思ヒマスルガ、私立ノ感化院ハ不良性ノ重イ者ヲ收容シナイデ、言ハバ感化ヲシ易イ者ヲ擇リ取りシテ居ルト云フ事實ハアリマセヌカ

○政府委員(田子一民君) 御話ノヤウニ極ク不良性ノ程度ノ強イ者デ府縣立……私立ナドヘ手ニ餘ルヤウナ者ハ送テモ受ケ入レナイト云フノハ實際デアリマス

○男爵若王子文健君 私人感化院ノ改正ト少年法ノ第二十八條ノ第二項トノ關係ニ付テ伺ヒタイト思ヒマス、此感化院ノ改正ニ依テ滿八歳以上十八歳以下ト是マデアリマシタルガ、十八歳未満ノ者ガ感化院ニ依テ感化院ニ這入ル、十四歳未満ノ者ガ地方長官ノ送致ヲ受ケタル場合ヲ除ク外ハ少年審判所デハ審判シナイ、斯ウ云フコトニナツテ居リマス、斯ウ云フ場合ニ感化院ヲ改正ニナリマスルト、感化院ノ第五條ニ規定シタルモノハ不良行為ヲ爲シ又ハ不良行為ヲ爲スノ虞アリ且ツ適當ノ親權ヲ行フ者ガ無イ場合ニ入院ヲ必要ト認メタ者、斯ウ云フ條件デアリマス、不良性ノ弱イ十八歳未満十四歳以上ノ者ハ如何ナル法律ニ依テ之ヲ感化院ニ送ルノデアリマス、少シ疑フ生ジテ参リマシタカラ此點ヲ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(山岡萬之助君) 十四歳以上ノ兒童ノ處分機關ニ付マシテハ少年審判所ノ設置ガアリマシテ、其機關ノ權限ガ及ブ範圍内……地域内ニ於テノ者ハ少年審判所ノ處分ニ依リマス、第二ハ少年審判所ノ設置ナクシテ其機關ニ依ル處分ノナイ地域ニ於キマシテハ、改正ノ附則ニ依リマシテ當分ノ内ハ從前ノ例ニ依ル次第デアリマス、サウシマスルト唯今ノ通りニ八歳以上十八歳未満ノ者ハ、地方長官ノ處分ニ委セラレマシテ、其地方長官ノ處分ニ依テ感化院ニ入レラレルト云フ形ニナツテ居リマス

○男爵若王子文健君 今ノ御説明ハ少年法第四條ノ如キ不良性ノ最モ甚シイモノニ對シテハ、サウ云フ具合ニ御處分ニナルダラウト思フ、併ナガラ是マデ感化院法ノ第五條ニ依テ入院ヲセシムベキモノト、サレテ居タルモノハ、今度ノ少年法ノ第四條ニ相當スル如キ不良性ヲ帶ビタモノデハナカラウト考ヘラレタルヤウデモアリマス、故ニ不良性ノ弱イ十八歳未満、十四歳以上ノ者ニシテ、是カラ少年法ニ依テ少

年審判所ニモ送付サレナイシ、又感化院法ノ改正ニ依テ感化院ニ收容サレルトモ出來ナイト云フヤウナコトガ生ジハシナイカト云フコトヲ恐レルノデアリマスガソノ所ヲモウ少シ精シク御説明ヲ願ヒマス

○政府委員(山内確三郎君) 第四條ノ者ハ極メテ不良性ノ者ノナウニ御考ヘノヤウデアリマスガ、此四條ノ保護處分、感化院ニ送致スルコト、矯正院ニ送致スルコト、此分ハ比較的ニ重イノデアリマスルガ、感化院ニ送ルニ及バザルヤウナ不良性ノ最モ弱イ者、ソレモ皆包含シタルノデアリマシテ、既ニ感化院ニ入レルマデモナキ、訓誡ヲ加フルコト、或ハ學校長ノ訓誡ニ委スルコト、或ハ書面ヲ以テ改心ノ誓約ヲ爲サシムルコト、條件ヲ附シテ保護者ニ引渡スコト、寺院、教會、保護團體又ハ適當ナル者ニ委託スルコト、少年保護司ノ觀察ニ付スルコト、病院ニ送致又ハ委託スルコト、斯ウ云フノハ感化院ニ送ルマデモナイト云フ不良性ノ最モ弱イ者ト察スルノデアリマス、此四條ハ不良性ノ強イモノノミデハナイ、弱イ所マデ……最モ弱イ所マデ全部包含シテ居ル積リデアリマス

○副委員長(田所美治君) テヨット中間ノ御尋ネ致シタイト思ヒマスガ、此間初日ノ日ニ私ガ御尋ネシマシテ、感化院法ノ改正ノ點ヲ豫想シテ御尋ネシタルノデアリマシタガ、其節ニ感化院ノ改正ハ年齢十四歳未満トスル、即チ本案御提出ノ通りデアリマスガ、國立ノ感化院モ自然ソレノ御改正ガアルカト云フコトヲ御尋ネラシタル際ニ、司法次官カラ自然改正ヲ適當ニ加ヘラレルト考ヘル、斯ウ云フ御話デアリマシタガ今日ハ內務省ノ當局ガ見エテ居リマスカラ伺ヒタウ存ジマスガ、國立ノ感化院モ矢張感化院ニ準ジマシテ、十四歳未満ト云フコトニ爲サル御考デゴザイマセウカ、過日司法次官ト私トノ應答ノ中ニハサウ云フ風ニ了解ヲ致シテ居リマシタルデアリマスガ、一應伺ヒマス

○政府委員(田子一民君) 現行ノ感化院令ノ第二條ノ御尋ネノヤウニ考ヘマスガ、此年齡ヲ如何ニスベキカト云フコトハ只今研究中デゴザイマシテ、大體決定ト致シマシテハ、十四歳未満ニ致スカドウカト云フコトニ付テ、ハッキリ決メテ居リマセヌノデゴザイマス

○副委員長(田所美治君) 私皆サンノ中間ノ御邪魔ヲ致シマスガ、今ノ感化院令ハ丁度矯正院令ノ規定ニナツテ居ルノデ、國立感化院令ト云フモノガアリマシテ、其第二條ニ年齡十四歳以上ニシテ性情特ニ不良ナル者、斯ウ云フノガ第一號ニアルノデアリマス、サウスルト感化院法ガ御改正ニナツテ十四歳未満ト云フコトニナリマシタカラ、府縣立及ビ私立方デモ拘ニ宜シキヲ制スルデアリマス、私ハ或ハ機械的ノ區分ニナルト云フコトヲ時々申上ゲマシタガ兎ニ角ソ

レデ年齢ト云フモノノ區別ガ付ク、然ルニ國立感化院ノ方デハ十四歳以上トナテ、サウシテ性情下ノ位ノ不良ナル所ヲ御入レルニナルト云フノデアリマスガ、丁度今度出来タ矯正院デハナイカト云フコトヲ先ヨリ御聞ヒシタノデアリマスガ、之ヲ御改正ニナル、ト一面デハ矯正院ガ東京、大阪ニ出来、武蔵野ノ方ニハ感化院ト云フモノガ矢張同程度デ存在スルト云フコトニナリハシナイカ、今御決マリニナリマセスケレバ、ドウ云フ風ニ御改正ニナルト云フ御見込デモ伺ヒマセスト、又混淆重複ヲ致スヤウナコトニナリハシナイカト考ヘマス

○政府委員(田子一民君) 現行ノ感化院令ハ感化法ヲ基礎ニ出来テ居ル勅令デアリマス、從テ此度少年法ノ實施ニ伴フ所ノ感化法ノ改正ヲ致シタノデアリマスガ、此矯正院法並ニ少年法ガ實施サレマシタ點ニハ、此勅令等モ是等ト連絡調和ヲ保ツヤウニ改正ヲ必要ト致スノデアリマス、但シ今、年齢ヲ如何ニ決メルカト云フコトハ明瞭ニ申ス事ハ出来ヌノデアリマス、此年齢ハ處分年齡即チ入院ヲ命ジマス際ノ年齢ト在院年齡トニ付テ、二ツニ分ケテ考ヘル必要ガアルノデゴザイマスカラ、相當ニ此年齡ノ點ニ付マシテハ、少年法、矯正院法、並ニ感化法ト調和ガ取レルヤウニ研究イタサウト思ヒマス

○副委員長(田所美治君) モウ一ツ伺フテ置キマスガ、此在院ガ二十五歳まで行クト云フコトニナッテ居リマスガ、ソレハ蓋シ感化院ニ效果ノ舉ルマデ相當ノ期間ヲ御決メナラナケレバナラヌガ、詰リ感化院令ノ今申上ガマシタノハ、入院年齡ニナッテ居ルノデアリマス、入院年齡ハ一方ハ十四歳未満、一方ハ十四歳以上、是ハ明瞭ニ入院年齡ノデアリマスガ、感化院令ノ第二條ハ、入院ノ資格ヲ十四歳以下ノ者ハ少ナクモ入レナイ、尤モ第二號ニ内務大臣ニ於テ特ニ入院ノ必要アリト認メタル者ハ、此限デナイト云フコトガアリマスガ、今日デモ丁度今度御出シニナッテ矯正院ノ年齢ト同ジ所ノ制限ニナッテ居リマスカラ、是ハドウシテモ十四歳未満トナサレスト約合ガ取レヌト考ヘマス、其邊ノ御考ハドウデアリマスガ

○政府委員(田子一民君) 其點ハ相當考慮ヲ致ス積リデゴザイマス

○副委員長(田所美治君) 續イテ田子君ニ二伺フテ置キマスガ、先達テ私ハ司法ノ當局者ニ逃亡ノ關係ヲ伺ヒマシタ所ガ、國立感化院ノ方デハ僅ニ三四名シカ逃ゲナイ、而カモ特ニ不良ナル性格ヲ有ッテ居ル者ハ……畢竟手ガ行届クノデアリマセウ、教養保護ノ手續ガ周到ニ行ッテ居ル譯デアリマセウガ、繞ラスニ何等ノ牆壁モナシニ逃亡シ者ガ僅ニ三四名ニ過ギヌ、斯ウフ云事デアルガ、司法省ノ方ノ御答ハ寧

ロ地方ノ感化院ノ不備ナル現狀ニ見テ逃亡シ者ハ七八十名モアル、斯ウ云フ御話デ、御答ガアリマシタノデ、是ハ逃亡者ノソレ程多イト云事デアッタナラバ、今度ノ矯正院モ無論牆壁デモ築イテ、教養保護ト云フ方カラ言フト、拘ニ監獄ニ近イモノニナリマスケレドモ、蓋シ餘儀ナイコトデアラウカト考ヘテ居リマスガ、サウシテ周到ナ教養ヲ施スヤウナバカリ御入レニナッテ、サウシテ周到ナ教養ヲ施スヤウナ結果ハ僅ニ三四名シカ逃亡シ者ハナイ、斯ウ云フモノデアレバ障壁モ要ラナイ、今度御答ニナリハシタ矯正院ハ又ソレニ鑑ミテ、相當ナル豫算モ御取リニナッテ居リマセウシ、教養保護ノ目的ヲ實ク上ニ於テハ牢屋ナ様ナ風ニセナクモ、武蔵野ノヤウナ極ク簡易ナル教育方法デ隨分效果ガ舉リハシナイダラウカ、詰リ其處ヲノ點ガ、牆壁ガ有ル無シト云フ點ガ、殆ド今度ノ說明ノ兩者ノ違ッテ居ル要點ノ一ツニナッテ居ルヤウデアリマスガ、實際何デアリマスガ、逃走ノ關係ナドハ國立感化院デハ洵ニ少數デアッテ、牆壁ナドハ言ハズシテ惡童ノ感化ト云フモノハ違ッテ居ル譯ナンデアリマセウカ

○政府委員(小橋一太君) 國立感化院ノ模様ハ既ニ田子政府委員ヨリ御答致シマシタガ、今御尋ノヤウニ、國立感化院ハ御存知モアルヤウニ、マルデ明ケ放シテ、成ルベク氣樂ニシテ感化ヲスルル云フ方針ヲ探ッテ居ルノデ、而シテ其間逃亡者ガ僅ニ三四名シカナイノデアリマスガ、ソレデ内務省トシテ國立感化院ハ、地方感化院ハ勿論デアリマスガ、此感化院ハ牆壁ヲ造ッテ、サウ云フ風ニ自由ヲ拘束スルヤウナ形ニシナイ、而シテ從來入レテ居ル國立感化院ノ十四歳以上ノモノハ蓋シ刑ノ言渡ヲ受ケナイ少年デアッテ、其不良性ハ地方感化院ニ於ケルヨリモ不良ニハ惡イデアリマセウガ、司法當局ヨリ說明サレル矯正院ニ入レバキ程度ノモノヨリ輕イ程度ノ少年ト認メテ居ルノデアリマス、ソレデ今後ニ於テモ國立感化院若クハ他ニ必要アッテ擴張スル場合ニ於テモ、矢張武蔵野學園式デアリタイ、其點ノ矯正院ノヤリ方トハ其點ニ於テ設備等ニ於テハ十分違ッテ居リマシ、中ニ這入ル者モ先ニ設備等ニ於テハ十分違ッテ居リマシ、犯罪行為アッテ起訴猶豫ノアツタ中ニ付テモ、此ノ國立感化院ニ來ナイ分ガ、矯正院ニ入レル必要ノ者ガ大分アルト云フヤウナコトデアリマスガ、矯正院ト感化院トハ各々其働キヲ共ニシテ相違ンデ感化教育ノ目的ヲ達シハセヌカト考ヘテ居リマス

○副委員長(田所美治君) 内務次官ナリ田子君ヨリ御答ヲ願ヒタイト思ヒマスガ武蔵野感化院ハ……武蔵野學園ハ今ノ御説明ニ依リマスルト、起訴猶豫ニナッテ居ル者、假出獄ノヤウナ者ハ這入ッテ居ラス様ナ御話デアリマスガ、今現在御入レニナッテ居ルノハ、サウ云フ者ハ澤山居ルノデアアリマセヌカ

○政府委員(山内確三郎君) 起訴猶豫ノ者ハ大分居ルノデアリマス

○副委員長(田所美治君) 私バカリ甚ダ僭越デアリマスガ、伺ッテ置キマス、先程司法次官カラ御答ノ、湯淺君ノ御尋デアリマシタカ、或ハ若王子男爵ノ御尋デアリマシタカ、程度ノ輕イ者モ入レルノデアル、犯罪ヲ犯ス虞アル者ト云フ中ニ這入ラナル、輕微ナル訓誡ヲ加ヘテヤル程度ノ者モアルカラ、是ハ輕微ナル者ガ這入ッテ居ルノデ、這入り得ルコトデアルト云フ御話デアリマスガ、又先日來ノ御説明ト少シ違シテ來ルノデ、感化院ノ方デハ程度ノ緩慢ナル者、矯正院ノ方ハ甚シキ者、是ガ一ツ又實質上ノ規則ノ一ツニナッテ居ルヤウデアリマスガ、又今日ノ御話ニ依ルト、成ルホド事件ノ上カラ見レバサウナルガ、其部分ハ即チ地方ノ感化院デアアル、其處ハ年齡ノ關係カラ御答デアリマシタガ、矢張サウ云フ者ハ是カラ内務省ノ方ノ感化院令ヲ御改正ニナルト云フコトデアリマスガ、サウ云フ者ハ限ッテ矯正院ニ入レルト云フコトニナリマセヌト云フ事ハ、先達デカラノ質問ノ又根柢ガ緩ンデ來ル云フ感ジガ致スノデアリマスガ、何カ其邊ニ付テ兩省緻密ナル打合セガ要ルコト思ヒマスガ……

○政府委員(山内確三郎君) 私ハ此第四條ヲ揭ゲテ、是ハ重イ者バカリデナイ、輕イ者ト言ヒマシタノハ第四條ハ少年審判所ニ於テ審判ヲスル、即チ保護處分ヲ與ヘル者ヲ全部入レル、此中矯正院ヘ入レル者ハ重イ、感化院ヘ入レル者ハソレニ續イテ重イ、併ナガラ少年審判所ニ於テ審判スルモノハ矯正院、感化院ヘ入レル者バカリデナシ、ソレヨリ輕イ者モ審判スル、サウ云フ次第デアリマスガ、矯正院ニ入レル者ハ最モ惡イ者デアルト云フコトハ動カナイ

○副委員長(田所美治君) モウ一ツ伺ヒタウゴザイマスガ、先程湯淺君ノ御尋ニナッテ點デアリマスガ、二三年前ニ本案ヲ提出ニナッテ時分ニ、司法當局ノ御答ニ依リマス、全國一齊ニ之ヲヤラヌトイカヌ、ソレニハ施設上先程御話ノ色々ノ困難ガアルカラ、ソレニ顧ミテ今度ハ二箇所ニ造ルト云フ御話デアリマスガ、其時分ノ司法當局ノ御答デハ全國ニ拵ヘナケレバナラヌ理由ノ一ツトシテハ、全國ノ詰リ兒童ヲ一般ニ同視スル、サウセヌト云フト、一方デハ此保護處分ヲ受ケテ少年審判所ノ厚キ保護ヲ預ル、東京及大阪ノ者ハソレニ預ルガ、他ノ部分ノ一般ノ全國ノ兒童ハ矢張、裁判所ノ裁判ヲ受ケテ少年監獄ニ打込マレル、斯ウ云フ事ニナルノデアリマスガ、一時ニ拵ヘナケレバナラヌ、斯ウ云フヤウナ御説明ガアツタヤウデアリマスガ、今回ノ御提案ヲ見レバ

豫算ト相俟チマシテ、ソレハモウ其理想ハ棄テテ試験的ト申シマスガ、先づ着手のニ二箇所ニ止メテ、其他ハ已ムナク從來ノ司法處分ニシテ置クト斯ウ云フ譯ニ了承シテ宜イノデセウカ

○政府委員(山内確三郎君) 全國ノ不良少年ヲ同一ノ下ニ保護イタシタイト云フハ此理想デアリマス、而シテ其理想ハ今日ニ於テモ棄テナイノデアリマス、併ナガラ理想ト云フモノハ直ニ實行ノ出來ナイモノデアリマス、殊ニ費用ノ關係モアリ準備ノ關係モアルト云フ事ニナレバ、到底實際ニ實施スルト云フコトハ言フベクシテ行フベカラザルモノデアリマス、理想ノ多クガ、完全ナル理想ハ屢々サウ云フ形ニナルノデアリマシテ、ドウ致シマシテモ漸ク以テ進ムニアラズンバ此ノ法律ノ目的ヲ達スルモノデアアルマ、云フコトハ私ガ此事業ヲ昨年十月司法次官トナッテ受繼グニ至リマシテ、私ガ新タニ此說ヲ出シタノデアリマス、費用ノ方面ナリ、實際ノ方面ナリニ付マシテ到底之ヲ一齊ニ施行スルト云フコトハ困難、況ヤ前ノ考デハ地方裁判所、全國、千島ニ至ルマデ之ヲ行フト云フヤウナ單純ナル理論的ニナッテ居ル、如何ニ理想ト雖モソシナ所マデ實施スル必要ガナカラウ、併ナガラ不良少年ノ居ル場所、多クハ都會地デアリマス、是等ノ不良少年ハ矢張同様ニ保護ヲ致シタイ考デアリマス、而シテ今年二箇所ニ置クガ、必シモ試験的デアリナイノデアリマシテ、其理想ヲ實現スルガ爲ニ、諸般ノ事情カラ私ハ已ムラ得ヌコトシテ二箇所ニ止メテ、而シテ成ルベク着々擴張イタシタイト云フコトノ考デアリマス、而シテ此矯正院ナリ、少年審判所ニ於キマシテ、差シ當リ今日ヤッテ居ル方法ニ依ッテ不良少年ノ保護ヲスル外途ガナイノデアリマス、併ナガラ或ハ感化院ニ入レルマデノ程度ノモノハ感化法ニ於テ働ケルコトデアリマス、矯正院ダケガチヨット缺ケルト云フ事ニナル、併シハ理想ヲ實行スルノ前提トシテ已ムラ得ヌコトト私ハ考ヘテ居ル是アルガ爲ニ二ツノモノモ實施シタイト云フコトニナッテハ大變ナコトデアリマス、先ヅ理想實行ノ第一着トシテ本案ヲ提出シタ次第デアリマス

○副委員長(田所美治君) モウ一ツ次イデ伺ヒマスガ、先程チヨット千秋男爵ノ懇談中ニ御尋ネデアッタヤウデアリマスガ、矯正院ヲ司法大臣ノ管理ニ屬セシメ、感化院ハ内務大臣ノ管理ニ屬セシムルト云フ主ナル理由ハ、ドンナ點ニアカト云フ御尋ネデアリマスヤウデアリマシタガ、引續イテソレヲ成ルベク明瞭ニ伺フコトガ出來マヌナラ伺ヒタウゾザイマス

○政府委員(小橋一太君) 内務省ノ方カラ先キニ申上ゲマス、感化院法ヲ少年法ニ適用スルヤウニ改正ヲシ、即チ御承

知ノヤウニ第五條一項ヲ改正シテ十四歳未滿ノモノヲ原則トシテ感化院ヘ入レルト云フコトニ付テハ、既往ニ於ケル感化院……地方並ニ國ノ感化院モアリマス、主トシテ地方感化院ガ十四歳未滿ノ者ガ大多數ヲ占メテ居テ、サウシテ成績モ良好デアアルコトハ先キニ他ノ政府委員ヨリ御答ヘシタ通りデアリマス、然ラバ國立感化院ト矯正院トハ殆ド同ジヤウナモノニナリハセヌカ、又假ニ之ヲ別々ノモノトシテモ其管理ヲ司法大臣ガシ、國立感化院ヲ内務大臣ガ管理スルト云フコトニシナイデ、ドチラカ一ツデヤルガ宜イデヤナイカ、別々ニスルト云フコトハドウデアアラウカ、斯ウ云フ趣旨デアリマスガ、内務省トシテハ現在ノ國立感化院ヲ持續ハシテ行テ、先キニ田子委員ヨリ御答スル様ニ今日ノ國立感化院デヤラケレバ、ナラヌガ、大體矯正院ニ這入ル者ヨリモ程度ノ輕イモノヲ國立感化院ニ入レ、地方感化院ニ於テハ、ドウモ困ルト云フヤウナ不良性ヲ感化院ニ入レル、感化院ニ入レルニ付テハ國立感化院ヘ不良性ノ惡イ程度ノモノヲ入レテ差支ナイ、矯正院ノ方ニハ先キニ司法當局ヨリ御説明ニタッタヤウニ、今日マデ從來内務省ガ感化院ニ入レ來タモノノ以外ニ、尙ホ多數ニ矯正院ニ入レテ嚴重ナル監督ノ下、嚴重ナル設備ノ下ニ矯正シタケレバナラヌ必要ノモノモアリマス、ソレカラ今日地方廳等ニ於テモ亦不良性ノ甚シキモノヲ入レテ居ナイモノガアル様ニ私ハ思フ、義ニ湯淺君ノ質問ニ對シテ田子政府委員ヨリ御答シタヤウニ、私立感化院デハ感化ノ見込ノナイ不良性ノ強イ者ハ避ケルハナイカ、斯ク云フコトデアッタガ、其傾向ガ獨リ私立ノミナラズ、府縣立感化院ニモ成ルベク不良性ノ程度ノ同ジヤウナ者ヲ感化シ得ル者ヲ入レルコトニ傾向ガナッテ居ル、不良性ノ惡イ者ハマダ大分アルデヤナイカト云フヤウナ事モアルノデ、矯正院ガ東京、大阪ニ出來、更ニ進ンデ他ノ地方ニ出來テ行クコトハ、内務省ノ從來ヤリ來タ感化行政ト兩々相俟ッテ、少年感化ノ目的ヲ達シ得ルモノト信ジテ、少年法ト矯正院ノ法律案ニ賛成シ、ソレト同時ニ感化法ヲ制定スルニ至ッタ次第デアリマス

○政府委員(山内確三郎君) 何ガ故ニ此少年審判法案ハ別問題ト致シマシテ、矯正院ニ關スル事柄ヲ司法大臣ニ於テ監督スルカ、内務省ノ方ニ一緒ニ持ッテ行ッタドウダトマデハ仰ッシャイマセヌケレドモ、兎ニ角ハ前ニモ他ノ政府委員ヨリ申シタコトモアリマセウシ、私モ申上ゲタノデアリマスガ、要スルニ此ノ犯罪性不良少年ナル者ヲ強要シテ刑ヲ科ス如キコトナカラシムルノガ、此少年法ナリ、矯正院法ナリノ理想トスル所デアリマス、即チ檢事局ニ假ニ關シテ申シマス、不良少年ガ犯罪ヲ犯シタ場合ニ之ヲ不起訴處分ニスル、起訴猶豫ニシテ其儘ニシテ置イテ、之ヲ放置

スルノハ檢事ノ取ルベキ政策デアナイ、故ニ茲ニ少年ヲ設ケテ最モ不良ナ者ヲ矯正院ニ入レル、其矯正院ニ入レルノハ即チ起訴猶豫ニシテ、而シテ其少年ヲ犯罪ナカラシメルコトガ刑事政策ノ一ツデアリマス、檢事ハ不起訴ヲ放置ノ役、矯正院ハ少年審判所ガ受取ル役ニナッテハ甚ダ面白クナイノデアリマス、而シテ矯正院ニ收容スルノハ即チ少年審判所ノ審判ノ實行デ、恰モ刑ノ實行ニ關スル監獄ノ如キモノデアル、サウ云フ次第デアリマス、カラ之ヲ審判スル官廳ト、其審判ノ結果ヲ實行スル所ノ矯正院ト云フモノハ最モ密接デナケレバナラヌ、即チ刑事政策ノ一ツノ仕事ト致シマシテ、少年審判所ヲ管理スルト同様ニ司法大臣ガ之ヲ監督スルト云フコトガ、私ハ政策上最モ適當ナル方法ダト考ヘテ居ルノデアリマス、其趣旨ニ於テ之ヲ司法大臣ノ監督ニ置クト云フコトニ致シタノデアリマス

○副委員長(田所美治君) 續イテモウ一ツ伺ヒマスガ、サウスルト起訴猶豫トカ、或ハ起訴ノ處分ヲナサタモノハ、少年法ノ第四條ニ依リマシテ、即チ犯罪ニ密接ノ關係ノアルモノトシ、矯正院ノ下ヘ御送ニナッテ、是ハ感化院ノ方ヘハモウ絕對ニ御送りニナラヌト云フ區別ト了承シテ宜シウゾザイマス

○政府委員(山内確三郎君) サウデアナイノデアリマシテ、即チ第七項デ感化院ニ送致ヲスルト云フコトモアル、併ナガラ感化院ニ送致ヲスルト云フノハ、必ズ犯罪性ノ者バカリデアナイノデアリマシテ、少年審判所カラ犯罪性ノ者モ送りマセケレドモ、併ナガラ感化院ニ這入ル者ハ主トシテ、内務省ノ地方長官ノ認ムル所ニ依リ、之ヲ教養スベキ者ヲ入レルノガ主トナルノデアリマス、ソレト同様ノモノヲココニ、感化院ニ送ルト云フコトニナルノデアリマス、サウ云フ次第デアリマス、カラ、是ハドウシタ所ガ其感化院ノ監督機關タル内務省ニ於テ監督セラレタケハナラヌコトハ、勿論デアリマス、サウ云フ次第デアリマス、此保護委員ト云フモノニ依テ分野ハ定メルノデアリマスガ、勿論既ニ保護司ニ於テ感化院、保護司ニ依テ審判所ニ行クト云フコトニナリマス、レバ、保護司トシテハ總テ其少年ノ狀態ハ之ヲ能ク觀察シタケレバナラヌト云フコトハ、是ハ勿論ノ話デアリマス、ソレデ以テ少年審判所ノ審判ガ、ドウ云フ效果ヲ來シテ居ルカト云フコトヲ注視スル所ノ途ハ具ハッテ居ル、其結果感化院全部ヲ司法省ニ持ッテ來ルト云フ事由ニハ、ドウモナリ兼ネルト考ヘテ居リマス

○男爵若王子文健君 モウ一ツ伺ヒタイノハ、内務省デ各府縣ニ御命令ニナッタノカ知リマセヌガ、方面委員トカ云フモノヲ御設ケニナッテ、不良性ノ薄イ者ニ對シテハ、サウ云フ者ハ、此少年法ニ規定シテアル一種ノ保護司ミタヤウ

シテ低能兒教育ノ研究ヲ始マリマシタノハ、只今ヨリ十四
五年前カラデアツカト記憶シテ居リマスガ、篤志家ガ出マ
シテ此低能兒研究ナドヲ致シテ、之ガ爲ニ留學ナドヲ致シ
タ人モ多少アルヤウナ次第デアリマス、ソレデ低能兒教育
ノ方法ナドヲ如何ニシテ宜シイカト云フヤウナコトモ、我國
ナドニ於キマシテモ、ソレ以後多少研究ヲ致シテ居ルノデ
ゴザイマス、即チ今日ニ於キマシテハ、御承知ノ通り各府縣
ニゴザイマスル師範學校ニ於キマシテ、低能兒ノ學級ト云フ
ヤウナモノヲ作テ居リマシテ、之ヲ教育イタシテ居ル所ガ
アルノデゴザイマス、之ハ又人數ハ極ク少數デゴザイマシ
テ、今日低能兒ノ學級ニ這入テ居リマスル生徒ハ全國二三
百ト云フヤウナ程度デゴザイマス、所デ實ハ最近ニ於キマ
シテ、私ドモノ方デハ低能兒ヲ將來如何ニスルカト云フ實行
案ニ付テ、只今調査ヲ致シテ居ルノデアリマス、御承知ノ通
リ低能兒ノ數ハ存外多クハナカラウト考ヘテ居ルノデアリ
マス、之ハ各國ノ統計ニ依リマスルガ、色々低能兒ノ標準ニ
依リマシテ多少違フノデゴザイマスルガ、我國ニ於キマシ
テ假ニ學齡兒童ノ「一パーセント」ガ低能兒デアルト致シマ
スレバ之ハ大變ナコトニナルノデアリマス、八万程ノ低能
兒ガアルト云ハナケレバナラスノデアリマス、今日迄ハ之
等ノ兒童ハ詰リ精神薄弱者ト致シマシテ、義務教育ヲ免除ス
ルト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、是ガ即チ我ガ普通
教育ノ一ツノ缺陷デアルト考ヘラレテ、此點ニ付マシテ十
分ニ力ヲ盡シタイ、斯様ナ考カ方今日ハ、此實行方面ニ付マ
シテ、只今委員ヲ設ケマシテ特ニ此調査研究ヲ致シテ居ル
ヤウナ次第デゴザイマス、私ドモニ於キマシテモ御尋ニ致
シマシテ御答ヲ申上ゲマスノハ、低能兒ノ教育ノ必要ハ十
分諒解ヲイタシテ居リマシテ、此教育ガ發達イタシマスレ
バ、餘程不良少年ヲ少ナクシ得ルコトデアラウト斯様ニ考
ヘテ居リマス

○富谷銈太郎君 一寸一ツ御尋シタイノデスガ、今度少年
法ガ愈々施行ニナリマシタラバ、文部當局者ト云ヒマス
カ、教育家トノ連絡ガ非常ニ一層重要ナコトニナルコトデ
アラウト思ヒマスガ、是ガ從來ハ感化院ヘ不良性ノ少年ヲ
教養スルニ際シテ、學校側カラ別ニ感化院ニ何カ交渉デモ
アツタヤウナコトハアリマスガ、各地方ナリ……是ハ殊ニ東
京ノヤウナ教育ノ方法ノ發達シテ居ル、教育者ノ非常ニ進
ンデ居ル所デアリ得ヌヤウニ思フノデアリマス、サウ云
フコトハアルノデアリマスガ

○政府委員(赤司鷹一郎君) 御答ヲ申上ゲマスガ、是ハ私
共ノ方トハ十分連絡ヲ取ツテ居ルノデアリマス、現ニ
……デアリマセヌ、先般武藏野感化院ノ創立ノ際ナドニ方
リマシテハ、特ニ文部省カラ適當ナル人ヲ人選イタシマシ

テ、是ハ實ハ今日ノ感化院長ハ元師範學校長ヲシテ居ル人
デアリマス、此人ヲ推薦イタシマシテ本人モ承諾イタシマ
シテ、特ニ低能兒ノ教育ノ爲ニ盡シタイト云フ決心ヲ以テ
マシテ、參リマシタヤウナ次第デアリマス、サウ云フ特別ノ
關係モゴザイマスガ、從來教育方面トハ連絡ヲ取リマシテ、
其成績モ餘程好イト聞イテ居リマス、又低能兒ニ關シマシ
テハ高等師範學校ナドニ於キマシテハ矢張り低能兒教育ノ
專門家モ居リマス、是等ノ人ト共ニ始終連絡ヲ取リマシテ、
只今經營ヲ致シテ居ルヤウナ次第ニナツテ居リマス

○富谷銈太郎君 尙ホ一寸附加ヘテ御尋ニ致シマス、東京
師範ノ附屬學校邊リデハ家庭ト、ソレカラシテ學校ノ先生
諸君ト大分連絡ヲ取ツテ居リマスガ、地方一般ノ狀況モ矢張
教育者ト家庭トノ關係ハドウ云フコトニナツテ居リマス、一
般ノコトヲ一寸序ニ伺ツテ置キマス

○政府委員(赤司鷹一郎君) 家庭ト此學校ノ連絡ヲ密接ニ
シナケレバナラスト云フコトハ、文部當局ハ常ニ氣ヲ付ケ
テ居ルコトデアリマシテ、是ハ各學校長會議ナドニ於キマ
シテ、文部大臣カラ屢々之ヲ訓示致シマシテ、家庭ト此連絡
ヲ取リマス方法ニ付キマシテ研究ヲ致サシメテ居リマシテ
何カ致シマシテ是ノ實行ニ努メテ居ルノデアリマス、併シ
何分ニモ土地ノ事情ニ依リマシテ、マダ今日デモ是ガ十分
行ツテ居ラス所ガアルカトモ存ジマスケレドモ、大體私共
ノ方針ト致シマシテハ此連絡ヲ最モ密接ナラシメルト云フ
斯ウ云フコトニ努メテ居ル次第デアリマス

○富谷銈太郎君 此家庭トノ連絡ノアリマセヌ所デハ、不
良ノ少年ガ出テ困ルドモ誘拐サレルヤウナ者ガアツテ困
ルト云フヤウナ……サウ云フ者ヲ感化院ヘデモ親族ノ依
賴ニ依テ、例ヘバ親族ト云フヨリモ、保護ノ依頼ニ依テ感化
院ニ頼ンダト云フヤウナ例ハゴザイマセウカ

○政府委員(赤司鷹一郎君) 是ハ私共マダ聞イテ居リマセ
ヌ

○富谷銈太郎君 ソレハ有リ得ルコトグラウト思ヒマス、
ソレダケデ私ノ質問ハ打切ツテ置キマス

○副委員長(田所美治君) 文部省ニ御尋ハゴザイマセヌ
カ、質問終了ニシテ宜シウゴザイマスガ、大體……

○湯淺倉平君 私人ニ異議ゴザイマセヌガ、外ノ方ハド
ウデスカ

○富谷銈太郎君 私ハ實ハ質問ハ是デ大概重要ナコトハ他
ノ御方カラ御話ニナツタシ、御渡シニナツタ書物デモ解リマ
シタカラ、モウドウカ質問ハ打切リニシタイト云フ考ヲ有
ツテ居リマス

○副委員長(田所美治君) 私一ツ文部省ニ御尋シテ置キマ
スガ、實ハ本案ハ數回持續イタシマシテ、一番ノ當初カラ司

法大臣ノ説明ニ依ルト、不良兒童ノ激増惡化同時ニ甚シキヲ
以テ、司法省ノ方カラ刑事政策ヲ一ツ伸張シテ、保護政策
ニ及ンデ來テ居ル、ソレニハ少年法案ヲ以テ矯正院ヘ行ク
ト云フ、サウ云フ所ノ趣旨ヲ以テマシテ、其根本カラ考ヘル
ト教育ニ歸着シテ參ルヤウニ思ハレルノデアリマス、中間
デ感化院ト云フモノノガ感化救済デ内務大臣ガ主管シテ居
ル、斯ウ云フヤウニナツテ居ルガ爲ニ内務省、文部省牽連問
題ガ又起テ來ダト云フヤウナ譯デアリマス、斯ノ如ク政府
ガ司法省カラモ其根本ニ週シニナリマシタ五十六萬餘圓
ニ至リ、又其豫算トシテ御廻シニナリマシタ五十六萬餘圓
ノ臨時經常ニ亘テ、本年出テ居ルコト云フコトガアルノデア
リマス、今承レバ文部省ノ方デモ 低能兒ノ方ハ色々御調査
ニナツテ居リマスガ、八万モマダ就學ヲ免除シテ居ル、就學
ヲ免除シテ居ル理由トシテハ精神ノ薄弱ト云フコトデ免除
シテ居ル、ソレ等ハ御調べニナツタコト存ズルノデアリマ
ス、約八万程ノ兒童ト云フモノハ、サウ云フ就學モシナイ奴
ガ居ル、ソレガ多クノ部分ガ、即チ不就學デ一丁字モナク又
缺陷ガアルガ爲ニ、犯罪ヲ起スト云フ者ガ其中幾人カハ出
來ヤウ、斯ウ云フ譯デアリマスカラ、其ノ本ノ八万人ヲ善化
セシメルト云フコトハ教育ノ力デナケレバナラス、斯ウ思
ハレルノデアリマス、五十何萬圓デ末ノ矯正院ヲ設ケル、本
ノ方ハ一文モ出サナイデ、他ノ高等教育機關ノ擴張ノ方ヘ
ハ大分御盡力デアリマス千萬圓モ……私ノ考デハ八萬人
ノ兒童ニハ誠ニ僅カナ金ガアツタラ、百萬圓ニモ足ラヌ金ガ
アツタラ、僅カナ八萬人居ルコトデアリマスカラ、特別ノ低
能兒教育ト云フモノノ施設ヲ著手シテヤレルグラウト思ヒ
マス、百萬モ要ラナイ、矯正院ノ費用ノ五十萬圓位デモ出來
ル、或ハモット少ナクテモ出來ルカト思フノデアリマス、是
ハ何デスカ調査調査ト云フコトデナシニ、一步先ンゼラレ
ルト云フコトハ、此法案ガ成立チ、豫算モ成立ツト云フト、
文部省ヨリ先ンズル譯ニナルノデアリマスガ、サウナツテモ
マダ調査ニ日ヲ要シテ大分先キデナケレバ出來ヌト云フコ
トデアリマセウカ、或ハマダ是ハ相俟ツヤウニ、一ツヤツテ
見ルト云フ意氣込デ如何ナモノデアリマセウカ、甚ダ本案
ノ目的眼目ヲ考ヘマス、ソコニ及ンデ來ルヤウニ考ヘル
ノデアリマス、文部省デハ來年度ノ豫算位、一ツ低能兒ヲ
ヤツテ見ルト云フ御考デアリマスガ

○政府委員(赤司鷹一郎君) 先刻モ大體申上ゲマシタ通り
ニ、我國ノ今日ノ初等教育ノ缺陷ト申シマス部分ハ、即チ第
一ガ貧困兒童ノ、此教育ノ問題デアリマス、ソレカラ第二ニ
盲啞教育ノ問題デアリマス、是ハドレガ重イ輕イト云フ意
味デアリマセヌガ、唯今竝ニ上ゲマス云フト第二ガ盲
啞教育デアリマス、第三ニ低能兒教育、或ハ性格異常兒ノ教

育、サウ云フヤウナ者ガアルノデアリマス、トコロデ此貧困
兒童ノ教育、ソレカラ盲啞兒童ノ教育ト云フヤウナコトニ
付マシテハ、略々計畫ガ完成ヲ致シテ居ルノデアリマス、特
殊兒童即チ低能兒ノ教育ニ付マシテモ、サウ長クナイ内ニ
最早調査ハ完了イタス見込デゴザイマシテ、是等ノ三ツノ
モノハ合セマシテ提案スルコトガ出来マスルカ、或ハバラ
／＼ニナリマスルカ、兎ニ角相當ナル計畫ヲ以テ進ム見込
デ居リマスノデアリマス、唯來年ニ於キマシテ此當院ノ御
協賛ヲ經ル程ノ段取ニナリマスカ、ドウデアリマスカ、是ハ
財政ノ關係モゴザイマスカラ、私カラ專斷デ申上ゲルコト
ハ出来マセヌ、調査ヲ急イデ居リマスコトハ申上ゲテ置キ
マス

○副委員長(田所美治君) 政府委員ガ唯今御確言ナサル譯
ニハ參リマスマイガ、文部大臣モ屢々繰返シテ華府會議ノ
結果カラ金ガ幾ラカ出ルト云フコトデアリマスカラ、來年
度出サナイデモ御計畫ニナラテ宜カラウカト云フ位ニ考ヘ
ルノデアリマスガ、ドウモ是ハ私ハ居リマシタ關係モアリ
マスシ、特ニ責任ヲ以テ御調査ヲ願ヒ又御着手ヲ願ヒタイ、
一應申シテ置キマス

○湯淺倉平君 私ハ先刻申上ゲマシタヤウニ、私一人ハ質
問アリマセヌガ、此次ニ御開キニナリマス時分ニ、嚴格ニ今
日デ質問打切リト云フヤウナコトナシニ、他ニ御缺席ノ方
モアリマスカラ、マア此次位ニ何レカニ決マルト云フヤウ
ナコトデ、其時ニ質問ノ方ガアリマシタラ斷然御許シニナ
ラヌト云フコトニ願ヒタイと思ヒマス

○副委員長(田所美治君) 私モ其積リデ居リマス、丁度今
日嚴格ニ終了ト云フコトデナシニ、速記ノ方ノ都合モアリ
マスカラ、明後日ハ午後ナラ速記ノ都合モ好イト云フ事デ
ゴザイマスカラ、午後一時カラ位ト致シマシテ、尙ホ質問殘
リノ方ガアリマシトラバ、缺席ノ諸君モ御願スルコトニ致
シマシテ、豫算トノ關係モゴザイマスカラ、明後日ハ是非ソ
コマデ進ミタウゴザイマス、ドウゾサウ御承知ヲ願ヒマス、
大變遅クナリマシテ……

午後六時十四分散會

出席者左ノ如シ

副委員長 田所 美治君
委員

子爵勘解由小路資承君
富谷 銚太郎君
男爵若王子 文健君
男爵千秋 季隆君
湯淺 倉平君
江原 素六君

政府委員

內務省	內務次官	小橋 一太君
內務省	社會局長	田子 一民君
司法省	司法次官	山内 確三郎君
司法省	刑事局長	林 賴三郎君
司法省	監獄局長	山岡 萬之助君
司法省	參事官	岩村 通世君
司法省	參事官	宮城 長五郎君
文部省	普通學務局長	赤司 鷹一郎君

大正十一年四月四日印刷

大正十一年四月五日發行

貴族院事務局

印刷部 印刷